

挫折は力になる

経済学部経済学科 吉若希彩
(大阪府立 和泉高等学校出身)

1. 大学入学前はどのように過ごしていましたか？

高校 2 年生の頃から勉強を怠けてしまい、難関大学の受験に挑戦したものの不合格となりました。高校や予備校の先生からは、やればできるタイプだといわれていたのですが、最後まで頑張り切ることができなかつたように感じます。

2. 上級キャリアコースに入ったきっかけ・理由は？

上記の様に大学受験に失敗したわけですが、それでもそこでの悔しさや経験をバネに成長したいと考えていました。そんなとき、上級キャリアコース(以下、上キャリ)の存在を知りました。HPにある先輩の体験談を読んでいると、私と同じように大学受験に失敗したものの、コース内の仲間と切磋琢磨しつつ自身の弱さを克服し、最終的には誰もが知っている大企業に就職した人が大勢いることを知りました。これこそ、私が望む環境だと思い、コースの選抜試験を受験・合格しメンバーとなりました。

3. 上級キャリアコースは厳しいのか？

初めは厳しいと感じました。しかし、今になって振り返ってみると、社会人として効率的・自律的に行動するための基礎を徹底的に仕込まれていたのだと思います。例えば、理由に関わらず1秒たりとも遅刻してはいけないということ、他人まかせではなく自ら率先して行動すべきこと、同じミスは繰り返さぬこと、先読みして行動すること、学生間で相談・解決できることを教員に質問すべきでないことなどです。

4. 上級キャリアコースで活躍するタイプは？

向上心があり、目的達成のためのあらゆる努力を惜しまない人です。例えば、成績を改善するために1日5時間勉強するというのはいわば当たり前のことであり、これだけではライバルとの差を付けることはできません。重要なことは、これにくわえて何ができるのかではないでしょうか。仲間との自主的な勉強会を立ち上げたり、情報収集のために先輩と仲良くなったり、できることはたくさんあるはずですが、もしあなたが、「そんなことまではしたくない」、「できる範囲内で頑張ろう」と思うのであれば、上キャリには向いていません。上キャリに入るということは、これまでのやり方や過去の自分と決別し、輝かしい未来のために全力で学業および自己研鑽に励むことを意味するからです。

5. 上級キャリアコースの強みは？

環境です。つまり、熱心に一人ひとりの学生と向き合ってくれる先生方、社会人の立場か

ら就活支援をしてくださる OB・OG のみなさん、そして向上心のある学生という組み合わせです。注意してもらいたいのは、だからといって、何から何まで先生や周りの人が手助けしてくれるのだとは決して思わないでほしいということです。むしろ、強い競争原理を伴う環境であり、やる気・覇気のない者には誰も手をさしのべないということです。

それでも、こんな環境があったからこそ、高校時代までは最後まで頑張りきることができなかった私でも、良好な学業・就職成果を達成することができたのだと強く思います。他では、なかなか手に入れられない環境ではないでしょうか。

6. 担当教員の大谷教授ってどんな人？

厳しくも熱い先生です。初めのうちは厳しさが目立つかもしれませんが、そのうち情熱を伴った優しさもみえてきます。厳しいだけ、あるいは怖いだけの先生なら学生は付いていかないでしょうし、輝かしい学業・就活実績も残せてこなかったはずです。実際のところ、先生とコースの学生はとても仲が良いです。

また大谷先生は、夏休みなどの長期休暇中も含めて週 1、2 回の無料課外講義を提供してくださいます。ここには、上キャリ生のほぼ全員が参加しているのですが、合宿などのイベントもありとても楽しいです。なお、無料課外講義への参加は任意ですが、参加して当然だと思っておくべきでしょう。別の見方をすると、「無料課外講義になんか出たくない」、「合宿とかめんどくさそう」と思う人は、上キャリには入るべきではありません。ノリが合っていないからです。